

妊娠中の COVID-19 ワクチン接種について

小張総合病院 産婦人科 医長 島貫洋太

2020年に新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックが始まり、およそ半年という短期間でワクチンが開発され、接種も早期に開始されたため、有効性や安全性に関する臨床データの集積も同時に進行されている状況です。

下記の要点から、COVID-19 ワクチンの接種は必須ではないものの、希望した方への接種は**推奨**されています。妊婦や妊娠を希望している女性をご参照下さい。

妊婦と COVID-19 感染症

- ・妊娠は重症化リスクを高める可能性があり、感染予防は重要である。
- ・肥満、呼吸器疾患、心疾患を合併している妊婦の重症化傾向の報告がある。
- ・感染後胎児死亡の報告はあるが、胎児奇形との関連を示す報告は認めない。

妊婦と COVID-19 ワクチン

- ・ワクチンの有効性が非妊婦と大きく異なるという報告はない。
- ・投与データは十分でないが、安全性、危険性の妊婦特有の傾向はない。
- ・明らかな胎児奇形や胎児毒性は認められていない。

妊婦、授乳婦における接種

- ・妊娠初期の接種を避ける根拠はないとされ、接種時期は問わない。
- ・授乳婦の接種を差し控える理由となるデータはない。
- ・妊婦のパートナー、同居者、ご家族の方への接種を考慮する。

その他

- ・今後の臨床データの集積により、情報が更新される可能性がある。

各学会のお知らせ

日本産科婦人科学会

http://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content_id=10

日本産婦人科医会

<http://www.jaog.or.jp/covid>

日本産婦人科感染症学会

http://jsidog.kenkyuukai.jp/information_detail.asp?id=114274

現時点での情報であり、今後治験等の結果によって変更となる場合があります。予めご了承ください。